

教材開発:マクドゥーガル=ケンプ・モデルで Brexit と EU 残留を説明する

～伝統モデルを教育で使う意義～ <http://ur2.link/Qmdj>

小川健(OGAWA, Takeshi)* (専修大学・経済学部・准教授)



1960年代にはその原型が提示されているマクドゥーガル=ケンプ・モデルは国際要素移動のモデルであるが、(細部はともかく)主だった研究は既にやり尽くされ、Wong(1995)のような大学院生向けの教科書だけでなく、伊藤・大山(1985)のような古典的な学部生向け教科書にも採用される位に**基本的なモデル構造は大昔に完成**されている。そして、石川(他)(2013)のような**学部入門向け教科書にも今でも紹介されている伝統的モデル**である。その基本的構造は国際的に動く要素と国際的に動かない要素との違いを利用して、その基本構造は特殊要素モデルに引き継がれている。このモデル自体は FDI 等の資本移動のモデルとして最初に紹介されたが、国際労働移動のモデルとしても使えることは Wong(1995)等を見ても昔から教科書で紹介されている。このモデルの基本構造は**本質的には微分無しでも理解できるので、中堅の大学の学部生にも扱える**が、このモデル構造の完成及び**教科書化はかなり前なので、近年の欧州統合に反する動きとこのモデルとの関連の説明は薄い**。

一方、2010年代には EU(欧州連合)を中心として域外からの**移民が数多くあり、そのあまりの人数に反移民・反 EU・そして反グローバリズムの流れを引き起こす遠因**となった。2016(平成 28)年に UK(イギリス)が国民投票で EU 離脱(Brexit)を決めたが、この一連の流れを表面化する効果を引き起こし、当時は USA(アメリカ合衆国)にもその反移民の流れが飛び火して、メキシコからの移民に強圧的な政策を公約にしていたトランプ大統領の当選にも影響したと言われ、**その後の世界経済の流れを大きく変えるきっかけになった**。この Brexit は投票から 3 年経った 2019(令和元)年 9 月現在でも詳細が合意できていない位に深刻な国内世論分裂を招いている。しかし、UK 国民投票の翌年である 2017(平成 29)年にフランスでは同様に移民が流入し、大統領選の決選投票でも**同様の移民政策・対 EU 政策が主要争点なのに、フランスでは EU 残留を掲げるマクロン大統領が当選**している。これはドイツでの AfD の台頭やイタリアでの 2018 年コンテ連立内閣成立等、近隣諸国と比べても異質な結果である。

このため、何故同じような移民流入に直面して、同じように移民政策・対 EU 政策が焦点にも関わらず、2016 年 UK 国民投票と 2017 年フランス大統領選(決選投票)で異なる判断が出たのか、**学部生の国際経済の講義でも理解可能な枠組みを提示することは教育上大事な点**と言える。しかし、従来フランスの大統領選等は大統領選が 2 人の決選投票制であるため、極右等が残ったら避ける傾向等で説明されていたことが多く、それでは対立候補のいた旧国民戦線が本当に極右か等、その政党の立ち位置に対する疑問が付いた場合の説明に難があった。主要争点に着目した説明も**従来は個別具体性が強く、今後や類似の事案に対する類推性に繋がらなかった**。

そこで本報告では何故 2016 年 UK 国民投票と 2017 年フランス大統領選(決選投票)で異なる判断が出たのか、前提の違いを利用して**同じマクドゥーガル=ケンプ・モデルを利用して学部生に理解可能な枠組みを提示し、**以て**モデル分析の重要性を伝えると共に、今後や類似の事案に対する類推性**を提供する。そのためのマークシート型の数値計算問題も作成し、それを含めた小テストを実行した結果についても合わせて報告する。

国民投票直前の UK では移民の純流入数が過去でも例のない位の高い水準になったことと、労働者の賃金下落率が過去でも例のない位になっていることが報道されていた。そのため移民受入国で移民代替的な労働者は移民まで含めて雇用されるまでに賃金率が下がり、**移民受入が世界的には効率的でも労働者の取り分は下がる**ので、彼らが国民投票で多数を占める場合には移民受入を求める EU からの離脱を選択する。他方、フランスは EU 屈指の**農業国であるが、農業は動かない要素である土地に集約的であるため地主側の発言力が強くなる**ので、来る移民によって地主側の取り分が増える結果、EU 残留を選択する、と説明可能になる。

* 連絡先: takeshi.ogawa.123 [at] gmail.com , (044)900-7970, 〒214-8580 川崎市多摩区東三田 2-1-1-9710